Panasonic

パーソナルコンピューター

取扱説明書

品番 CF-M34 シリーズ

PRO NOTE

2000

本書以外のマニュアル

操作マニュアル

画面で見るマニュアルです。本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。見かたについては14ページを参照してください。

もくじ

キーの組み合わせによる操作/状態表示ランプ/フラットパッドの操作/タッチパネル/画面反転/スタンバイ・休止状態機能/セキュリティ機能/省電力機能/バッテリーパック/フロッピーディスクドライブ/ポートリプリケーター/PCカード/RAMモジュール/プリンター/外部ディスプレイ/USB機器/モデム/LAN機能/セットアップユーティリティ/技術情報/エラーコードが表示されたら/困ったときのQ&A

上手に使って上手に節電

もくじ

お使いになる前に
操作の方法
困った時は

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

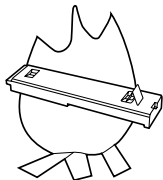
⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

バッテリーパックに関する注意 ⚠危険

火中に投入したり加熱したりしない

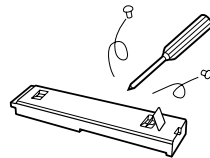
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

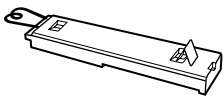
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

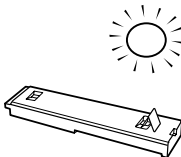
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(-)を金属などで接触させない

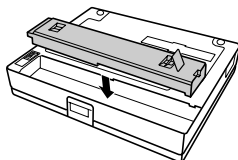
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-M34シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く

・本体が破損した
・本体内に異物が入った
・異臭がする
・煙が出ている
・異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● 異常が起きたらすぐに電源を切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

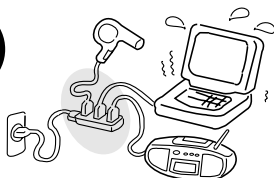
● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

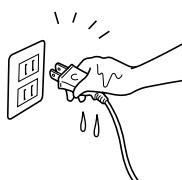
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

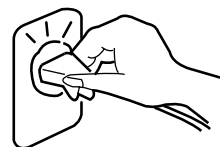
● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない また、本書に記載のない方法で分解しない

分解禁止

高電圧に注意
本機を分解・改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

上に水などの入った容器や金属物を置かない

禁止

水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

必ず指定のＡＣアダプターを使用する

指定以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※の原因になります。

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

※低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

使用上のお願い

本取扱説明書の表記上の規則

[スタート]-[プログラム]	:画面の「スタート」をクリックした後、「プログラム」をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
Enter	:Enterキーを押します。
Fn + F5	:キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押します。
☞操作マニュアル	:操作マニュアルは画面で見るマニュアルです。14ページ記載の方法で起動し、参照してください。

周辺機器等の誤った使用をすると本機の性能劣化、温度上昇、故障の原因になることがあります。各種拡張については操作マニュアルを参照してください。

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関る機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、下記および次ページのことに注意してください。

ハードディスクのデータ保護

- コンピューターに衝撃を与えない。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
- Windows*やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（▤）のランプが点灯中は、電源を切らない。
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]-[シャットダウン]を選び、操作を終了してください。
- ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障・不本意なデータ更新・消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。（☞操作マニュアル『セキュリティ機能』）

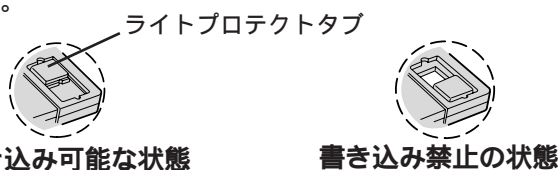
* 正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版です。本書では、WindowsまたはWindows 2000と表記します。

ハードディスク保護

ハードディスク保護が有効に設定されていると、ハードディスクにもパスワードが設定されるため、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータが読み書きできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と完全に同じ設定にしておいてください。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。☞操作マニュアル『セキュリティ機能』）

使用上のお願い

フロッピーディスクのデータ保護

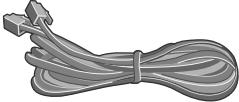
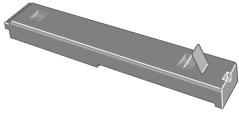
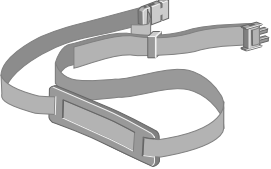
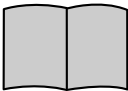
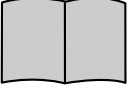
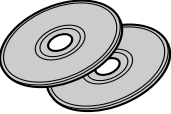
- フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯中に電源を切ったり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。
  フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
- 一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合はその前に内容を確認する。
  フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。
- 書き込み禁止タブ（ライトプロテクトタブ）を使う。
  重要なデータを保存している場合におすすめします。書き込み禁止の状態にするとデータの削除や上書き保存を禁止することができます。

- フロッピーディスクの取り扱いには注意する。
  データの破損やフロッピーディスクが本体から取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
  ・シャッターを手で開けない
  ・磁気を帯びたものを近づけない
  ・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
  ・ラベルを重ねて貼らない

コンピューターウィルス

最新のウィルスチェックプログラム（市販）を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
・コンピューターを起動するとき
・データを入手したとき
　フロッピーディスクなどの外部メディアから、またネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ（圧縮されている場合は、圧縮復元後のファイル）を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

LCDパネル（ディスプレイ）の取り扱い

- LCDパネルは衝撃や振動に弱く、破損しやすいため、持ち運びの際には十分ご注意ください。また、LCDパネル部を持って、持ち運ばないでください。
- カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で製造されていますが、ちょっとした環境変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができることがあります。これらの画素が0.002％以下（有効画素が99.998％以上）のものは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

はじめて使うとき

お買い上げになってからはじめてWindowsの操作を始めるまでの操作手順を説明します。

1 付属品を確認する

コンピューター本体以外に以下の部品を付属しています。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

お願い

トラブルが発生したときに使う再インストール用バックアップディスクを作成するには、別売りのUSB接続のフロッピーディスクドライブ（CF-VFDU03JS）または、別売りのポートリプリケーター（CF-VEB341JS/CF-VEB342JS）接続のフロッピーディスクドライブ（CF-VFDU01JS）が必要です。バックアップディスク作成の際には、2HDフロッピーディスクを準備し、書き込み可能な状態にしておいてください。バックアップディスク作成に、1.2Mバイトフォーマットの2HDフロッピーディスクは使えません。

ACアダプター 1個	モジュラーケーブル 1本	バッテリーパック ... 1個
品番：CF-AA1527　（電源コード1本付き）		品番：CF-VZSU15
ショルダーストラップ 1個		スタイラスペン .. 1本
コンピューターを持ち運ぶ際、ハンドストラップの代わりに取り付けることができます。		
Windows マニュアル 1部	取扱説明書 1部	
	（本 書）	
プロダクトリカバリー CD-ROM ....2 枚	保証書 1部	
	保証書は梱包箱に貼り付けられています。	

2 ソフトウェア使用許諾書（☞23ページ）に同意する

コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

3 本体底面のラベルに記載されているプロダクトキー［Product Key］（数字とアルファベット）を本書の裏表紙などに記入する

プロダクトキーは、再インストールのときにWindowsをセットアップするために必要です。

お願い

数字やアルファベットを間違えないように記入してください。
間違いやすい数字とアルファベットの一例

B　：アルファベットのB（ビー）です。
Q　：アルファベットのQ（キュー）です。
8　：数字の8です。

4 バッテリーパックを取り付ける

① 本体を裏返します。

② ラッチをスライドしてロックを外します。

③ カバーを開けます。

④ 青いタブを持って付属のバッテリーパックを入れます。

お願い

本体側のコネクターに触れないでください。コンピューターが正常に動作しなくなることがあります。

⑤ バッテリーパックがカチッとはまるまで矢印方向にスライドします。

お願い

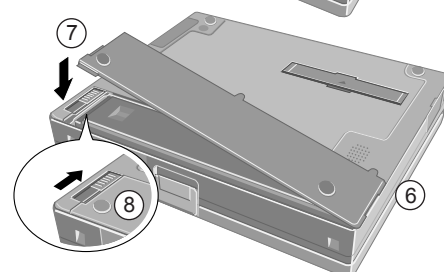
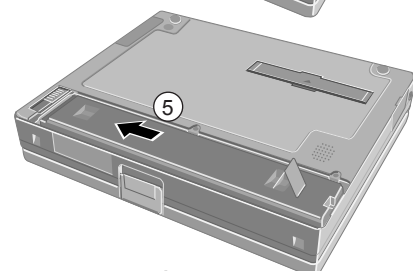
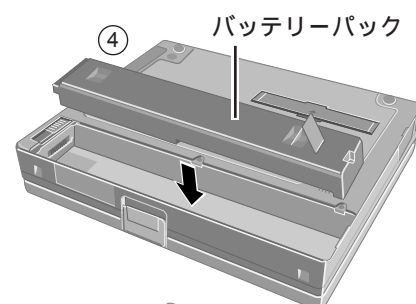
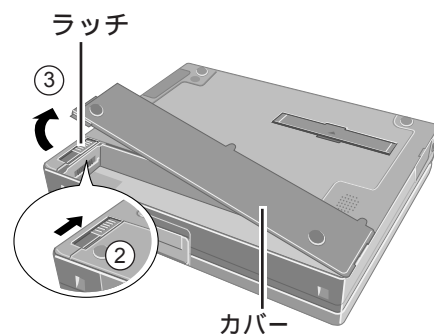
バッテリーパックがコネクターに正しく接続されていることを確認してください。

⑥ 右端のフックをみぞに差し込みます。

⑦ カバーを閉じます。

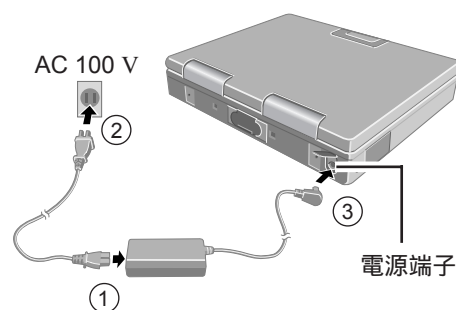
⑧ ラッチをスライドしてロックします。

お願い

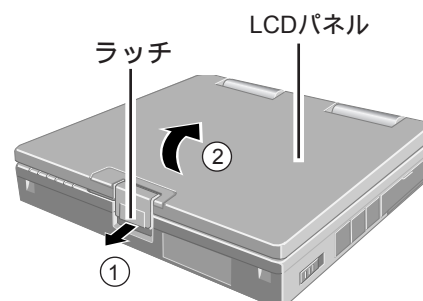
ラッチが正しくロックされていることを確認してください。
ラッチがロックされていない状態でコンピューターを持ち運ぶと、カバーが開いてバッテリーパックが落ちることがあります。

5 AC アダプターを接続する

⚠注意

必ず指定のACアダプターを使用する

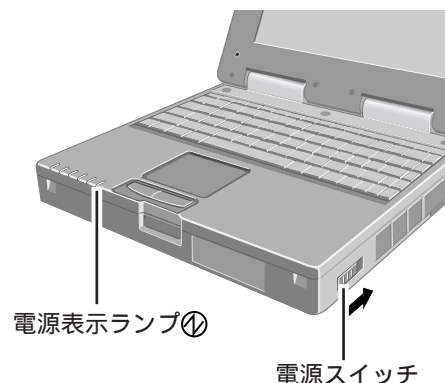
指定以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

6 ディスプレイを開ける

① ラッチを矢印の方向に持ち上げます。

② LCDパネルを開けます。

7 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間スライドしたままにし、電源表示ランプ（⏻）が点灯したことを確認してから手を離します。

お願い

- 電源スイッチを4秒以上スライドしたままにしないでください。4秒以上スライドし続けると電源が切れます。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- 本体にバッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

お知らせ

工場出荷状態では、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスが一定時間*ない場合、ディスプレイの電源が切れます。
この場合、フラットパッド、タッチパネル、キーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。

* ACアダプターを接続しているとき： 15分間
ACアダプターを接続していないとき：5分間

8 Windows 2000 をセットアップする

お願い

「Windows 2000セットアップ　ウィザードの開始」画面が表示されるまで、キーを押したりフラットパッドを操作したりしないでください。

① 「Windows 2000セットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
② 「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③ 「地域」画面で変更の必要があれば「カスタマイズ」を選んで設定した後、[次へ]を選ぶ。
④ 「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。
名前は必ず入力してください。組織名は入力しなくても次に進むことができます。

お知らせ

再インストール後のセットアップの場合、個人用設定の後に「プロダクトキー」画面が表示されます。取扱説明書の裏表紙などに記入したプロダクトキー（Product Key）を入力して、[次へ]を選んでください。

⑤ 「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。

お願い

設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。

⑥ 「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
⑦ 「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
⑧ 「ワークグループまたはドメイン名」画面で[このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している]を選び、[次へ]を選ぶ。
⑨ 「Windows 2000 セットアップ　ウィザードの完了」画面で、[完了]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑩ 「ネットワーク識別ウィザードの開始」画面で、[次へ]を選ぶ。

⑪ 「このコンピュータのユーザー」画面で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑫ 「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面で、[完了]を選ぶ。
⑬ 手順⑤で設定したAdministratorのパスワードを入力して[OK]を選ぶ。

お知らせ

- 手順⑦以降の操作は、使うネットワークシステムにより異なります。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
- 「Windows 2000の紹介」画面について
  - この画面を閉じる場合は、[終了]をクリックしてください。
  - 「Windowsについて」を選ぶと、「Windows 2000 CDが見つかりません。」というメッセージが表示される場合があります。この場合、[キャンセル]を選び、[c:\winnt\cdimage\discover]と入力して[OK]を選んでください。
  - 「スタートアップ時にこの画面を表示」のチェックマークを外すと、次回起動時からこの画面は表示されません。
- [スタート]メニューの説明が表示されたら、閉じるには[スタート]をクリックしてください。

9 バックアップ用のフロッピーディスクを作成する

[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[バックアップディスク作成]を選びます。バックアップディスクを作成する必要がある場合、別売りのフロッピーディスクドライブを取り付け（☞操作マニュアル『フロッピーディスクドライブ』）、書き込み可能な状態にした2HDフロッピーディスク（枚数は画面に従ってください）を準備し、画面に表示されるメッセージに従って操作してください。作成したディスクにはラベルを貼り、名称を書いておいてください。（バックアップディスクは作成する必要がない場合もあります。）

フロッピーディスク取り出しボタンが飛び出すまで、確実に挿入する。
<CF-VFDU03JSをお使いの場合の例>

フロッピーディスクラベルの名称
ファーストエイドFD*

* バックアップディスク作成画面が表示されたら、画面に表示されるメッセージに従ってディスクを作成してください。

お願い

- 作成したフロッピーディスクは、コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに、ハードディスクの内容をお買い上げ時に近い状態に戻すときに使います。必ず作成し、大切に保管してください。
  フロッピーディスクの作成中は、他のプログラムを動作させないでください。
- フロッピーディスクの作成中に、「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
- フロッピーディスクアクセスランプが点灯中にフロッピーディスクを取り出したり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、電源を切ったり、スタンバイ機能（☞13ページ）を使って終了しないでください。

お知らせ

以下の別売りのフロッピーディスクドライブが使用できます。
- USB接続のフロッピーディスクドライブ（CF-VFDU03JS）*1
- 別売りのポートリプリケーター（CF-VEB341JS / CF-VEB342JS）*2接続のフロッピーディスクドライブ（CF-VFDU01JS）

*1 セットアップユーティリティの[レガシーUSB]を[有効]にし、[フロッピードライブ]を[CF-VFDU03（USB）]に設定しておいてください。
*2 セットアップユーティリティの[レガシーUSB]を[無効]に設定しておくか、または[レガシーUSB]を[有効]にし、[フロッピードライブ]を[CF-VFDU01]に設定しておいてください。

お知らせ

新規デバイスをインストールしたときや[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]でWindowsのコンポーネントを追加したとき、[ディスクの挿入]画面が表示されたら[OK]を選び、[ファイルが必要]画面で[A:\]の代わりに[c:\winnt\cdimage]と入力して[OK]を選んでください。
（例：[A:\i386]の代わりに[c:\winnt\cdimage\i386]）

操作を始める／終わる

操作を始める

1 **ディスプレイを開ける**（☞8ページ）

2 **電源を入れる**（☞9ページ）

電源スイッチを約1秒間スライドしたままにし、電源表示ランプ（⏻）が点灯したことを確認してから手を離します。

お願い

- 電源スイッチを4秒以上スライドしたままにしないでください。4秒以上スライドし続けると電源が切れます。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- 電源を入れても本体が起動しない原因の一つとして、CPUの温度が上がっている場合があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの加熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
- Windowsが完全に起動するまで、以下のことはしないでください。
  - ・ACアダプターを抜き差しする。
  - ・電源スイッチを操作する。
  - ・キーボード、フラットパッド、タッチパネル、外部マウスに触れる。
  - ・ディスプレイを閉じる。

●画面に🔑が表示されたら...

本機のセキュリティのため、パスワード（☞操作マニュアル『セキュリティ機能』）が設定されています。

* セットアップユーティリティで設定されているパスワードです。（Windowsのパスワードではありません。）

3 **操作をする**

各種アプリケーションソフト等を起動し、操作を始めてください。

お知らせ

お買い上げ時、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間*続くとディスプレイの電源が切られます。
この場合、フラットパッド、タッチパネル、キーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。

* ACアダプターを接続しているとき： 15分間
ACアダプターを接続していないとき：5分間

●操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら...

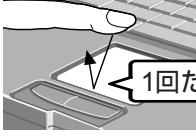
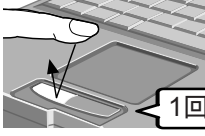
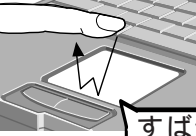
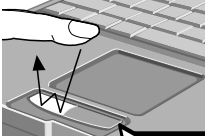
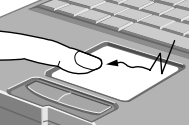
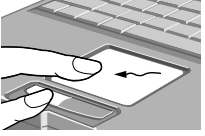
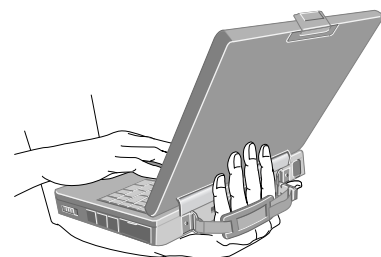
前回操作を終えたとき表示していた画面です。「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能（☞操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）を使って操作を終わると、電源を入れたとき、すぐに操作を再開することができます。

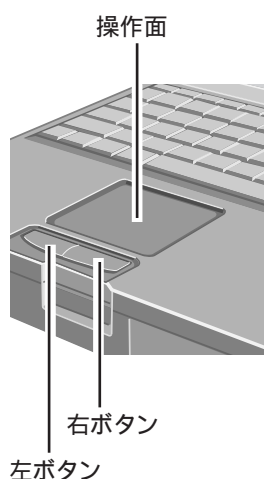
操作の方法

操作を始める／終わる

使い方

ハンドストラップは立ってコンピューターを操作するときに便利です。
誤ってコンピューターを落とさないようにベルトの長さを調節し、コンピューターをしっかりと持って操作してください。

お願い

ハンドストラップやショルダーストラップに大きな力を加えないでください。ハンドストラップやショルダーストラップがコンピューターから外れるおそれがあります。

フラットパッドを使う

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。

機能	フラットパッド
カーソル移動	操作面をなぞるとカーソルが移動する
クリック （タップ）	1回たたく　または　1回たたく
ダブルクリック （ダブルタップ） プログラムの実行など	すばやく2回たたく　または　すばやく2回たたく
ドラッグ ・アイコンの移動 ・「エクスプローラ」でのファイルの移動 ・「ペイント」での描画 など	操作面を1回たたいてから、すばやく指先で操作面をなぞる　または　1本の指でボタンを押したまま別の指で操作面をなぞる

フラットパッドの取り扱い

- フラットパッドは、セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「フラットパッド」が「有効」に設定されているときのみ動作します。（工場出荷時は「有効」に設定されています。）
- 操作面にものを置いたりツメなどの先のとがったもの、固いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえないでください。
- 油などでフラットパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動作しなくなります。
- フラットパッドに汚れが付着した場合：
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。ベンジンやシンナー、消毒用アルコールは使わないでください。
  中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

スタイラスペンの使い方

- 使用する前に、スタイラスペンの先端と画面を清掃しておいてください。細かなごみが付着していると、画面を傷つけたり、スタイラスペンの操作がしにくくなったりします。
- 付属のスタイラスペンは、画面操作以外の目的で使用しないでください。
  他の目的で使用するとスタイラスペンが損傷し、画面を傷つけることがあります。
- 画面操作には、鉛筆、先のとがったもの、固い金属物などを使用しないでください。
  画面を傷つけることがあります。

操作を終わる（電源を切る）

スタンバイまたは休止状態機能（☞操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）を使わずに操作を終わります。

お知らせ

コンピューター本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1 Wの電力が消費されます。）

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する

2 [スタート]-[シャットダウン]を選ぶ

確認画面が表示されます。

お知らせ

キーボードを使って終了画面を表示するとき

[Windows] または Ctrl + Esc を押し、[シャットダウン]を選びます。

3 [シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ

自動的に電源が切れます。

●電源を切らずに、起動しなおしたい（再起動）

[再起動]を選んで[OK]を選びます。

お知らせ

次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい

「スタンバイ」と「休止状態」と呼ばれる機能があります。（☞操作マニュアル『スタンバイ･休止状態機能』）

操作を始める／終わる

操作マニュアルについて

操作マニュアルは、画面で見ることができます。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティの設定方法など、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。

操作マニュアルを起動する

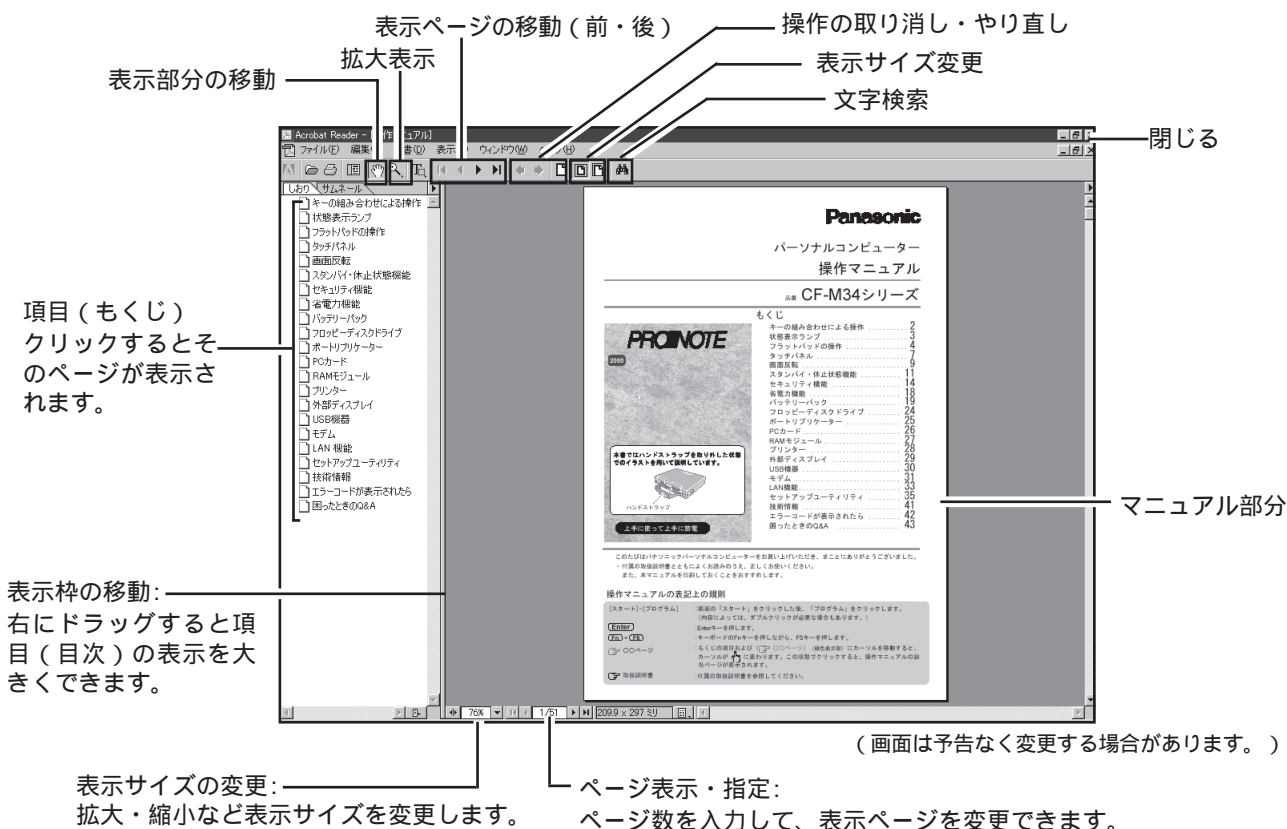
1 電源を入れる

2 [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選ぶ

はじめて操作マニュアルを起動したときは、Acrobat® Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。

お願い

上記以外の方法（マイコンピュータなどから、操作マニュアルのファイルをダブルクリックするなど）では起動できないことがあります。
その場合はコンピューターを再起動した後、上記の方法で起動しなおしてください。

（画面は予告なく変更する場合があります。）

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見にくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターをお持ちの方は、印刷しておくことをおすすめします。ただし、プリンターにより、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

保管・持ち運び・お手入れ

使用・保管

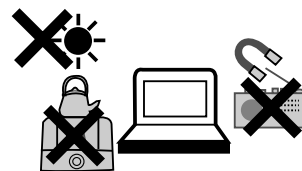
●適した場所

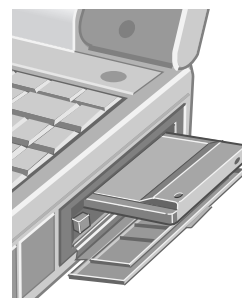
- 平らで落下のおそれがない場所
- 使用時の温度：5 ℃〜35 ℃
  湿度：30 %RH〜80 %RH
  （結露なきこと）
  保管時の温度：-20 ℃〜60 ℃
  湿度：30 %RH〜90 %RH
  （結露なきこと）

●適さない場所(故障の原因になります)

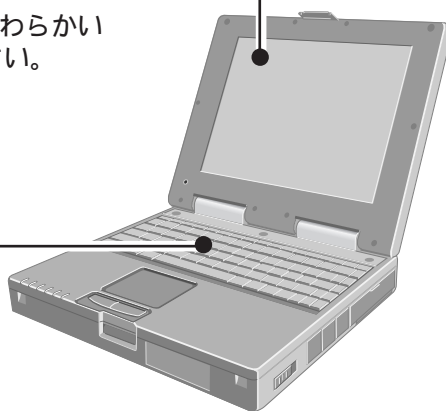
次のような場所では、使用・保管しないでください：

- 直射日光が当たる場所
- テレビ、ラジオ、無線機や強い磁界を発生する装置の近く
  画像の乱れや雑音の原因になることがあります。
- 極端に高温または低温になる場所

また、熱に弱いものを近づけないでください。使用中、本体の温度が上がることがあります。

持ち運ぶとき

- データのバックアップをとり、バックアップしたデータも必要に応じて一緒に持ち運ぶことをおすすめします。
- 電源を切ってから持ち運んでください。
- 外部装置、ケーブル、本体から突き出たPCカード（☞右図）はすべて取り外してください。
- バッテリーパックを用意しておくことをおすすめします。
- ディスプレイを開けたまま持ち運んだり、ディスプレイを持って持ち運ばないでください。
- 落としたり、机の角など固い物にぶつけないよう注意してください。
- 航空機で持ち運ぶときは、破損等を避けるためコンピューターやディスクなどは、手荷物としてお持ちください。また航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

お手入れ

ディスプレイ：
ガーゼなどの乾いたやわらかい布で軽くふいてください。

ディスプレイ以外の部分：
水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。
0251 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。ーデフォルト値が設定されました。	CMOSデータがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 ● セットアップユーティリティでいったんデフォルト設定にした後、適切な値に設定し直してください。 ● それでもエラーになる場合は、CMOSバックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。
0271 Check date and time settings	システムの日付と時間が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時間を正しく設定してください。
0280 起動を3回失敗しました。ーデフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてからOSが起動するまでに、3回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。なお、正しくOSを起動すれば表示されることはありません。
02B0 フロッピーディスクAのエラーです。	● ドライブが正しく接続されているか確認してください。 ● 正しく接続してもエラーになる場合は、ドライブの故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230 システムRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0231 シャドウRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0232 拡張RAMエラー。オフセットアドレス：nnnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。ーバッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOSバックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。ーキャッシュは使用できません。	CPUの故障です。
02F5 DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

困ったときのQ&A

本機がうまく動かない場合にお読みください。『操作マニュアル』でも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

●電源を入れたとき

電源表示ランプが点灯しない	● ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
(鍵アイコン)が表示された	パスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
スタンバイおよび休止状態から操作を再開したとき、パスワード入力が要求されない	セットアップユーティリティでパスワードを設定し、[起動時のパスワード]を[有効]に設定していても、スタンバイおよび休止状態から操作を再開したときはパスワード入力は要求されません。パスワード入力が必要となるように設定するには、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]で「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてWindowsのパスワードを設定してください。
システム起動エラーが表示された	☞ 16ページ
Windows の起動および動作が極端に遅い	セットアップユーティリティ（☞操作マニュアル『セットアップユーティリティ』）を起動し、F9 を押して、いったんデフォルト設定（パスワード設定を除く）に戻したあと、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。）
日付と時刻が正しく表示されない	● [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[日付と時刻]を使って、または[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]でDATEコマンドとTIMEコマンドを使って訂正してください。 ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合、サーバーの日付/時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降の日付と時刻は正しく認識されません。
上記以外の場合	● セットアップユーティリティを起動し、F9 を押して、いったんデフォルト設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外してみてください。 ● SCANDISKコマンドを実行してハードディスクをチェックしてください。 ● 起動時に F8 を押し、セーフモードで起動してみてください。

●終了時

Windows が終了できない	● プロバイダーへの通信は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。プロバイダーについては、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LAN（☞操作マニュアル『LAN機能』）は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 ● LANの設定については、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

困ったときのQ&A

●バッテリー状態表示ランプについて

状態	対処
赤色に点灯している 使用中にビープ音が鳴り始めた	バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにデータを保存し、終了してください。ACアダプターを接続するか、満充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	● すぐにデータを保存し終了した後、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。 ● それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電機能の故障が考えられます。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
オレンジ色に点滅している	● バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、充電できません。温度が範囲内になってから、ACアダプターを接続してください。 ● 消費電力が大きすぎると充電できなくなることがあります。消費電力の大きい周辺機器の使用は控えてください。

●画面表示

状態	対処
電源を入れたあと、画面に何も表示されない	● 工場出荷状態では、外部ディスプレイを接続すると、外部ディスプレイに表示される設定になっています。 ● 外部ディスプレイの画面に何も表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ● Fn + F3 で表示を切り換えてください。 ● 外部ディスプレイだけに表示してスタンバイまたは休止状態機能を使って操作を終わった場合、操作を再開したときに外部ディスプレイが接続されていないと、内蔵ディスプレイには表示されません。この場合は、外部ディスプレイを接続してください。
電源を切っていないのに、しばらくしたら画面に何も表示されなくなった	● 省電力の設定をしていますか？ 何かキーを押すかフラットパッド､タッチパネルまたはマウスを操作して､省電力のため､ディスプレイの電源が切れた状態に入っていないか確認してください。 ● 電力の消費を抑えるため､自動的にスタンバイまたは休止状態に入っている場合があります。（☞操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）
残像が現れる	イメージが画面に焼き付き、残像となることがありますが、異常ではありません。別の画面が表示されると残像は消えます。
画面に赤・青・緑のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤・青・緑）するものがあります。これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
マウスカーソルが動かない	マウスを正しく接続し、キーボードで操作してコンピューターを再起動してください。 キーボードを使って再起動するとき ⊞（または Ctrl + Esc ）を押し、「シャットダウン」を選びます。

困った時は

●文字入力

キーを押しても印刷されている記号と異なる記号が入力される

USBキーボード・USBテンキーボードを装着すると、次回起動時以降、キーボード配列が「101英語キーボード」として扱われ、本体内蔵キーボードおよび外部キーボードでの入力が正常に行えなくなります。このような場合には、以下の手順に従って、キーボードドライバーをインストールし直してください。

1 Windowsにログオンします。（ただし、キーボード配列が英語キーボードとして扱われていますので、パスワードに記号を使用している場合、下記の表に従ってキー操作してください。）
2 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選択します。
3 [キーボード]をダブルクリックし、表示される[日本語PS/2キーボード(106/109キー)]をダブルクリックします。
4「日本語PS/2キーボード(106/109キー)のプロパティ」の[ドライバ]-[ドライバの更新]を選択します。
5「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」の画面が表示されますので、[次へ]を選択します。
6 [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]を選択し、[次へ]を選択します。
7「モデル」の欄で[日本語PS/2キーボード(106/109キー)]を選択し、[次へ]を選択します。
8「デバイスドライバのインストールの開始」の画面が表示されますので、[次へ]を選択します。
9「デバイスのインストールの確認」の画面が表示されますので、[はい]を選択します。
10「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」の画面が表示されますので、[完了]を選択します。
11「日本語PS/2キーボード(106/109キー)のプロパティ」の画面で[閉じる]を選択します。
12「今コンピュータを再起動しますか？」と表示されますので、[はい]を選択します。

なお、異なるUSBキーボード・USBテンキーボードを新規に装着する場合には、上記手順に従ってキーボードドライバーをインストールし直してください。

入力したいキー	押下するキー
数字	そのまま
アルファベット	そのまま
!	そのまま
"	[*]
#	そのまま
$	そのまま
%	そのまま
&	[']
'	[:]
(	[)]
)	[SHIFT]+[0]
=	[^]
-	そのまま
~	[SHIFT]+[半角 / 全角]
^	[&]
|	[}]
\	[]]

入力したいキー	押下するキー
@	["]
`	[半角 / 全角]
[	[@]
{	[`]
;	そのまま
+	[~]
:	[+]
*	[(]
]	[[]
}	[{]
,	そのまま
<	そのまま
.	そのまま
>	そのまま
/	そのまま
?	そのまま
_	[=]

困った時は

●その他

ハングアップした	● Alt + Ctrl + Del を押して再起動してください。 ● リセットスイッチを押して、コンピューターを再起動し、アプリケーションソフトを再度起動してください。それでも正常に動作しない場合は、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再インストールしてください。
操作マニュアルを表示できない	Acrobat Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で「c:\util\reader\ar405.exe」を起動し、画面に従ってインストールしてください。 その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューからオンラインマニュアルを起動できません。
PDF 形式のファイルを開けない	● Acrobat Readerの使用許諾書に同意する前に、以下のことはしないでください。Acrobat Reader が正常に起動しなくなります。 ・エクスプローラなどから PDF ファイルをダブルクリックして起動する。 ・アプリケーションソフトのオンラインマニュアルを起動する。 以下の手順で使用許諾書に同意してから使用してください。 *1* 再起動する。 *2* [スタート]-[プログラム]-[Adobe Acrobat 4.0]-[Acrobat Reader 4.0]を選ぶ。 *3* ソフトウェア使用許諾書に同意する。 ● PDF 形式のファイルを開き、最小化したままスタンバイや休止状態に入ってリジュームしたとき、タスクバーの[Acrobat Reader]をクリックしても、PDF 形式のファイルは表示されません。この場合、タスクバーの[Acrobat Reader]を右クリックし、[最大化]を選んだ後、Acrobat Reader を終了し、再度ファイルを開くと正しく表示されます。 PDFファイルを最小化したまま、スタンバイおよび休止状態には入らないでください。

再インストールのしかた

再インストールの前に

●準備する

- プロダクトリカバリーCD-ROM
- PCカード接続のCDドライブ*1（別売）またはUSB接続のCDドライブ*2（別売）
  - *1 PCカード接続のCDドライブ（別売）：パナソニック製KXL-830AN、KXL-808AN、KXL-807AN、KXL-RW10AN、KXL-820AN、KXL-810AN、LK-RV8171DZ、LK-RV624DZ
  - *2 USB接続のCDドライブ（別売）：パナソニック製KXL-840AN、KXL-RW20AN
    USB接続のCDドライブを使用している場合は、コンピューター側のUSBコネクターに接続してください。
- [バックアップディスク作成]で作成したバックアップディスク*3（ファーストエイドFDとアップデートFD*4）とフロッピーディスクドライブ*3*5（別売）（☞ 10ページ、手順9）
  - *3 USB接続のCDドライブを使っていて、アップデートFDがない場合は、準備する必要はありません。
  - *4 アップデートFDは作成されない場合があります。
  - *5 USB接続のフロッピーディスクドライブ（別売：CF-VFDU03JS）
    または
    ポートリプリケーター（別売：CF-VEB341JS / CF-VEB342JS）とフロッピーディスクドライブ（別売：CF-VFDU01JS）

●以下の点を確認する

- 必要なデータはバックアップをとっておいてください。
- 不要な周辺機器は、すべて取り外してください。
- 必ず、ACアダプターを装着してください。

再インストールする

お願い

- 再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- ハードディスクを圧縮して使用している場合は、解除してください。

1. CDドライブを接続し、「プロダクトリカバリーCD-ROM 1」をセットする。
2. ＜PCカード接続のCDドライブを使用している場合＞
   フロッピーディスクドライブを接続し、「ファーストエイドFD」をセットする。
3. コンピューターの電源を入れる。
4. 「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているときに、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。
5. セットアップユーティリティの内容を紙などに記入し、F9 を押す。
   確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。
6. ＜USB接続のCDドライブを使用している場合＞
   - 「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「有効」にする。
   - 「起動」メニューで「USB CDドライブ」が1番目になるように F5 F6 を押して、設定する。

   ＜PCカード接続のCDドライブとUSB接続のフロッピーディスクドライブ（CF-VFDU03JS）を使用している場合＞
   「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「有効」にし、「フロッピードライブ」を「CF-VFDU03（USB）」にする。
7. F10 を押す。
   確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。
8. ＜PCカード接続のCDドライブを使用していて、初めて再インストールする場合のみ＞
   使用するCDドライブを選び、 Enter を押す。
   「A:\>」と表示されたら Alt + Ctrl + Del を押して再起動する。
9. 「再インストールを開始しますか」と表示されたら Y を押す。
10. メニューから、どの操作を実行するかを選ぶ。
    - ハードディスクの内容をパーティション設定も含めて、すべて工場出荷の状態にするには：
      [1. ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。]を選ぶ。
    - 最初のパーティション(通常はCドライブ)にWindows 2000をインストールするには：
      [2. 最初のパーティションにWindows 2000を再インストールする]を選ぶ。

    この場合、最初のパーティションのサイズは約4Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

再インストールのしかた

11 確認のメッセージが表示されたら Y を押す。
再インストールが始まります。（30分程度かかります。）
・途中で、プロダクトリカバリーCD-ROMを入れ替えるようメッセージが表示されたら「プロダクトリカバリーCD-ROM1」を取り出し、「プロダクトリカバリーCD-ROM2」をセットしてください。

12 「再インストールを完了しました。」と表示されたら、Enter を押す。
コンピューターの電源が切れます。

13 CDドライブとフロッピーディスクを取り外して、電源を入れ、「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているときに、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

14 F9 を押す。
確認メッセージが表示されたら、再度 Enter を押す。
（セットアップユーティリティの設定も工場出荷時の設定に戻っています。パスワードを除くセキュリティの設定も工場出荷時の設定に戻っています。）
必要に応じて、設定を変更してください。

15 F10 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。

16 Windows のセットアップを行う。（☞ 9ページ）
＜「アップデートFD」がある場合＞
アップデートFD内のREADME.TXTを参照して操作してください。

お知らせ

使用するCDドライブを変更する場合などには、下記に従って操作してください。

1 CDドライブを取り外した状態で「ファーストエイドFD」をセットして、コンピューターの電源を入れる。
2 「CD-ROMドライブが見つかりません...」と表示されたら「A:\>」プロンプトに続けて「\tools\seldrv」と入力して Enter を押す。
3 画面の指示に従って、使用するCDドライブを選ぶ。
4 [A:\>]が表示されたら、[\tools\shutdown]と入力して、Enter を押し Y を押す。コンピューターの電源が切れます。
5 CDドライブを接続する。
6 コンピューターの電源を入れ、「再インストールを開始しますか」というメッセージが表示されたら、 N を押す。
7 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をセットし、MS-DOSのプロンプトに続けて「dir L:」と入力して Enter を押し、Lドライブを認識できるか確認する。
8 認識できることを確認したら、「A:\>」プロンプトに続けて「\tools\shutdown」と入力して Enter を押し Y を押す。コンピューターの電源が切れます。

ソフトウェア使用許諾書

第1条　　権利

お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属CD-ROMおよびマニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条　　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条　　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第4条　　使用コンピューター

本ソフトウェアは、本コンピューター1台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第5条　　解析、変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第6条　　アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第7条　　免責

本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

各部の名称と働き

ラッチ
ディスプレイ
マイク
キーボード
操作マニュアル『キーの組み合わせによる操作』
フラットパッド
12ページ
クリックボタン
状態表示ランプ
NumLk 1 •Caps Lk A •ScrLk
機能時：緑色
HDD アクセスランプ
HDD 動作中：緑色
バッテリー状態表示ランプ
電源表示ランプ
電源オン時：緑色
スタンバイ時：緑色点滅
電源オフ時と休止状態時：消灯
USB コネクター
別売りのフロッピーディスクドライブ等のUSB機器が使用できます。
操作マニュアル『フロッピーディスクドライブ』
LAN コネクター
操作マニュアル『LAN機能』
モデムコネクター
操作マニュアル『モデム』
PC カードスロット
操作マニュアル『PCカード』
電源スイッチ POWER
リセットスイッチ
電源が入っている時、先の細いもので押すとコンピューターが再起動します。鉛筆などの折れやすいものは使用しないでください。
お願い
リセットスイッチは、何らかの問題が発生して、コンピューターが操作不能状態になったとき以外は、使用しないでください。保存していないデータは失われます。
ハンドストラップ
オーディオ出力端子
市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。ヘッドホンまたはスピーカーを接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。
マイク入力端子
コンデンサー型モノラルマイクロホンの2極プラグタイプと3極プラグタイプを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
電源端子
DC IN
15.1 V
シリアルコネクター
シリアルマウスやモデムなどの通信機器を接続します。
セキュリティロック LOCK
市販の盗難防止用のケーブルを使用し、机などにつなぎます。接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。
RAMモジュールスロット
操作マニュアル『RAMモジュール』
拡張バスコネクター EXT.
ハードディスクドライブ
スピーカー
バッテリーパック
操作マニュアル『バッテリーパック』

仕様 日本国内専用

●本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

項目		仕様
機種名		CF-M34J2S
CPU		モバイルPentium® III プロセッサ 400 MHz
キャッシュメモリー（セカンドキャッシュメモリー）		32 Kバイト（256 Kバイト）
搭載メモリー（拡張可能メモリー）		64 Mバイト（最大192 Mバイト）
ビデオメモリー		4 Mバイト
LCD	サイズ（タイプ）	8.4インチ（TFT）
	解像度（色数）	640 × 480 ドット/800 × 600 ドット（約1600万色*1）
外部ディスプレイ	解像度（色数）	640 × 480 ドット/800 × 600 ドット/1024 × 768 ドット/1280 × 1024 ドット（約1600万色）
ハードディスク		約10 G*2バイト
キーボード		OADG準拠、Windowsキーボード（86キー）
ポインティングデバイス		フラットパッド、タッチパネル[AR（Anti - Reflection）処理]
スロット	PCカードスロット	Type I(Type II) ×1スロット 許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA*3
	増設RAMスロット*4	144ピン,SO-DIMM,3.3 V,SDRAM,100 MHz x 1スロット
インターフェース	シリアルコネクター	RS-232C Dsub 9ピン x 1
	マイク入力端子	ミニジャック（コンデンサーマイクを使用のこと）x 1
	オーディオ出力端子	ステレオミニジャック x 1
	USBコネクター	4ピン x 1
	モデム端子	本体内蔵（RJ-11）x 1 DATA:56 kbps (V.90 & K56flex) FAX:14.4 kbps
	LAN端子	本体内蔵（RJ-45）x 1 100BASE-TX/10BASE-T
スピーカー/マイク		モノラルスピーカー（内蔵）/モノラルマイク（内蔵）
サウンド機能		PCM音源（16ビットステレオ）
消費電力		約41 W（電源ON時 バッテリー充電中のACアダプターを含めた消費電力です。）*5
外形寸法（幅×奥行×高さ）		229 mm×188 mm×43 mm
質量		約1.7 kg
使用環境条件		温度：5 ℃～35 ℃ 湿度：30 %RH～80 %RH（結露なきこと）
導入済みソフトウェア		Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack 1、Acrobat® Reader、画面反転、DMIビューアー、ドライバー等

*1 ディザリング機能を使用して約 1600 万色表示を実現しています。
*2 1 Gバイト =10⁹ バイトで端数を省略しています。
*3 スロットごとの許容電流です。他の周辺機器等による負荷がない場合のカードスロット単体での数値です。
*4 RAM モジュールを増設される際、100 MHz 対応であることをご確認ください。
*5 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約 1W。

●付属品仕様

項目		仕様
AC アダプター	入力	AC 100 V ～ 240 V*1 , 50 Hz/60 Hz
	出力	DC 15.1V , 2.6 A
	電源コード	125V 対応
バッテリーパック	仕様	10.8 V（Li-ion）, 3.4 Ah
	稼働時間	約 4.2 時間*2

*1 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。（☞ 3ページ）
*2 LCDバックライト輝度最低時。また使用条件により異なります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
転居や贈答品などでお困りの場合は…
・「パナソニックパソコン お客様ご相談センター」にご相談ください。

■保証書（別添付）
必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき
『困ったときのQ&A』にしたがってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
注）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
技術料は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料費です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■海外での使用について
本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

ご相談窓口のご案内

パーソナルコンピューターのパナソニックブランド製品についての技術的なご質問・お取り扱い方法等ご不明な点がありましたら、商品名をご確認のうえ、下記のご相談窓口にご相談ください。
なお、通常の修理サービスは、お買い上げ販売店にご依頼ください。

●ご相談窓口　パナソニックパソコン
お客様ご相談センター

電　話	0120-873029（パナソニック）（フリーダイヤル）
受付日及び時間	365日 9時～20時

（2001年1月1日現在）

・本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
・本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	品 番[*1]	
おぼえのため記入されると便利です。	販売店名	☎(　　)　−	お近くの当社 ご相談センター ☎(　　)　−	
	Windows システムの Product Key[*2]			

[*1] 保証書に記載されている品番（例：CF-M34J2S）を記入してください。

[*2] 本体底面のラベルに記載されているProduct Keyを記入してください。

松下電器産業株式会社　パーソナルコンピュータ事業部

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

FJ0101-0

DFQM5447ZA